

山弓連 平成22年12月

第24回・山日 YBS 杯争奪県下弓道選手権大会

主催・山梨日日新聞社・山梨放送

主管・山梨県弓道連盟

平成22年11月23日(火) 小瀬武道館弓道場

参加申込人数

女子の部 24名 男子の部 63名

称号受有者 35名 大会役員・競技役員 25名

競技開始 午前9時40分 競技終了14時45分

国旗拝礼続き YBS 山日の挨拶があり、天野会長の、昨夜の雨で心配していましたが、今朝来る途中で南アルプスの山々の冠雪が白く輝き気持ちよい朝となり絶好の日和に安心しました。山弓連にとっての朗報です、全弓連の平成22年度の優秀地連得点(11月2日現在)でインターハイ、国体の活躍により、堂々全国9位になりましたと、報告があり、また山日 YBS さんのご協力の上この大会が開催されましたとお礼を述べられ、本日出場の皆さんの日ごろの稽古の成果を遺憾なく発揮してもらいたいと挨拶され、厳粛で張り詰めた空気の中で会長の矢渡しが行われ、県下の弓友90名余りの参加を得て、我こそは半分け以上の的中で予選を通過し、射詰競技に挑む意気込みをいだいて大会が開催されました。

女子の部 (予選通過者 7名)					
氏名	支部名	段位	予選	決勝	
1位 根津里美	笛吹	三	○ ○ ○ ○ ×	× ○ × ○	
2位 小俣雅子	富士吉田	二	○ ○ ○ ○ ○	× ○ × ×	
3位 河西映里	南アル	四	× ○ ○ ○ ○	× ×	
男子の部 (予選通過者 31名) (6射目より八寸的)					
氏名	支部名	段位	予選	決勝	
1位 中澤国弘	甲府	五	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
2位 藤原直之	笛吹	四	○ × ○ × ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ×	遠近射
3位 上条剛央	上野原	四	○ ○ ○ ○ ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ×	
4位 酒井紀夫	都留	四	× ○ × ○ ○	○ ○ ○ ○ ×	
5位 斎藤重歳	富士川	四	○ × ○ × ○	○ ○ ×	
称号受有者の部 (予選通過者 9名)					
氏名	支部名	段位	予選	決勝	
1位 中込 実	南アル	錬五	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	
2位 若杉年久	笛吹	錬五	○ × ○ × ○	○ ○ ×	遠近射
3位 佐野辰巳	南部	教七	○ × × ○ ○	○ ○ ×	

優勝者の言葉

称号受有者の部・中込 実 錬士五段

2連覇出来たことは素直にとっても嬉しいです。しかし今回の山日・YBS杯へ参加には迷いがありました。10月に開催された千葉国体では遠的予選で失敗。近的決勝でもブレーキと二人のメンバー(渡辺君・上條君)に本当に申し訳なく。又、自分の射にも自信を無くしていました。それでも弓を引くことはやめられず、練習方法を数稽古から一本一本確認しながら引くため一手毎に変え、少しずつでしたが当たりも戻ってきて結果を出すことができました。射では、まだまだ先生方には追いつきませんが今回の成績は今後への一步とし次の目標に向けて頑張りたいと思います。山梨県弓道連盟の皆様ありがとうございました。

男子の部 中澤国弘 五段

いつも試合に臨む時、今日は1本も抜かないぞ!と思います。なかなかそうは行きません。しかし優勝まで至らず、途中で終わったときに思うことは、「優勝できなかった」と言うことでは無く、「どうしてあそこへ抜けてしまったか」です。その後悔を再び味わわない為に日々練習をしています。

いつの試合も決勝射詰めの場に自分がいることを願っています。今回の決勝射詰めは、特に1本に集中出来、矢色は出ましたが矢所は割りとまとまり練習の成果が出たな、と思いました。いつも同じ息合いで、同じ射が出来るように努力しています。それをしながら練習する為には時間が必要な所が悩ましいところです。

最近実感することは、「弓の道は大路なり」と言う先人の言葉です。先達が切り開いた正しい大きな道があるから安心してその道を歩みなさい、と言う意味のようです。色々なことを自分で考え、思いつき実行してみますが、ほとんど全て先人の研究し尽くしたことであることは疑いようもありませんが、生物学で「個体発生は系統発生を繰り返す」と言う言葉があるように、弓道でも先人が経てきた道筋をもう一度なぞりながら上達していくことが寄り道をしない方策だと思うこの頃です。私の拙い射ではありますが、ここ山梨の恵まれた環境、良き先達、良き友人のお陰で少しずつでも上達しているのだと実感し感謝しています。

明治神宮奉納弓道大会(第3位)

平成22年11月3日(水)第百十九回明治神宮至誠館弓道場において明治神宮奉納全国弓道大会が行われ、晴天に恵まれた中で全国から千六百人近い選手が集った。称号の部で山梨県の仲間と一緒に参加した南部町の佐

野辰巳選手教士七段が的中制の厳しい中で見事に日頃の成果を発揮した。最初の予選2本を的中し予選通過、決勝戦は予選に通過した人達で行い、今年は初めから八寸的中を使用しどんどん脱落して行く中、7本連続的中させ8本目で落とし第三位に入賞しました。今まで決勝進出は12回あり皆途中で脱落していたが、五位一度そして今度の三位と二回の入賞を果たしました。

笛吹市石和町清流杯争奪弓道大会の報告

11月7日(日)9時から、笛吹市石和町清流館弓道場において「第17回石和町清流杯争奪弓道大会」が開催されました。朝からすばらしい天気恵まれ、町内のお手伝いも含めて、約90名の参加者がありました。今年も賞品が石和町名産の「柿」で、昼食時の「トン汁」も参加者の皆様から好評で、秋の一日を楽しく過ごすことができました。(石和町 古屋)

結果は以下の通りです。

<近的の部> 一人 8射

団体優勝:

富士吉田(羽田穂高・渡辺幸太・鍵和田哲史) 17中・準優勝: 甲府市(大野晃史・大野陽子・竹村榮寿)

3位: 御坂町(雨宮哲・梶原久美子・根津里美)

個人優勝: 中澤国弘(甲府市) 7中競射により

準優勝: 大野晃史(甲府市)

3位: 雨宮 哲(御坂町)

4位: 竹村英寿(甲府市)

5位: 舟久保正一(富士吉田市)

<遠的の部> 一人 8射

個人優勝: 渡辺幸太(富士吉田市)

準優勝: 羽田穂高(富士吉田市)

3位: 中澤国弘(甲府市)

4位: 大野晃史(甲府市)

5位: 伏見康孝(富士吉田市)

山梨県弓道連盟 平成22年度 納射会

平成22年12月12日(日)小瀬武道館弓道場

参加申込 53名 競技参加者 48名

開会9時 競技開始10時15分、終了12時30分

天野会長は挨拶で、昇段昇格者の数、全国9位など今年は実り多い年でした、今年を締めくくる、すばらしい納射会にしてくださいと述べられました。

矢渡し射手・天野会長、第一介添に望月勝男錬士六段、第二介添 塩島健二錬士五段で厳かに執り行われ、引き続き、演武・持的射礼は峡東ブロック代表の女性五名の見ているものをうっとりさせ女子ならではの華麗のうえに厳粛な礼射と、郡内ブロック代表の男性

五名の力強く若々しい礼射が披露されました。

成績(納射一手、四ッ矢、計6射)

優勝・竹村榮壽錬士五段(甲府) 6射皆中

準優勝・渡辺幸太四段(富士吉田) 5中 遠近競射

3位・小俣太一錬士五段(大月) 5中 遠近競射

(2位・3位は5中者6名による遠近競射)

閉会式にて、古屋副会長は今回の優勝者は高齢にもかかわらず竹村榮壽錬士五段(甲府)の6射皆中は、すばらしいことです、入賞を逃された方々は是非初射会で雪辱を果たしてくださいと講評され、納射会を閉じました。

支部だより

(甲府支部) 山梨県弓道連盟甲府支部秋季大会

平成22年11月11日(日)小瀬武道館弓道場

例年甲府支部では甲府市体育協会の委託事業として夏季大会と秋季大会を開催しています。この大会は遠的にも行われるので小瀬弓道場で開催されます。

普段遠的を経験しない会員も競射の前に練習を認めて試合を開始します。近的、遠的の競射、余興として五色板割りもあり和気あいあいの射会で賞品も豪華です。

(笛吹市石和町)

第8回笛吹市弓道スポーツ少年団大会報告

2010年12月5日(日)17時

笛吹市清流館弓道場 (晴れ)

今回は、驚いたことに小学5年生で、12射して皆中を含む6中で優勝しました。小学生の皆中は初めて見ました。大会結果 (12射)

中学生の部 優勝: 野崎沙耶香(御坂) 4中2位: 菊島なつき(御坂) 3位: 梶原 悠(御坂)

小学生の部 優勝: 中川 夢来(御坂) 6中2位: 小谷野優麻(石和) 3位: 小林 実生(御坂) 4位: 渡辺 夕稀(御坂) 5位: 渡辺 慧(御坂)

<参加者>中学生選手6人小学生選手 11人 合計17人応援保護者など 合計15人

指導員 石和: 斉藤美隆・古屋三三男・小川正史

御坂: 渡辺泰明・渡辺芳直 豊富: 川口正秀 指導員合計8人参加者総合計 40人】<報告者>石和町弓道スポーツ少年団古屋三三男(電話263-1350)

編集後記・今号から支部だよりの欄を設けました、各支部よりの寄稿をお願いします、内容は例えば支部納射、初射会、年越射会、ジュニア指導、トピックス、などなど、お待ちしております。

寄稿先・新藤康平 Tel/fax・055-252-1938

甲府市湯村1丁目7-2-202

メール s-kouhei@maroon.plala.or.jp